

- 1 教育事業名 ボランティア自主企画事業「とかしきわくわくキャンプ」
- 2 ねらい ボランティアがこれまで培った知識・技能・経験を活かし、自然体験活動における実践的な取り組みをとおしてボランティアとしての意識の向上を図る。また、子供たちが自然体験活動の魅力を感じ、異年齢の交流をとおしてコミュニケーション能力や協調性を身につける機会とする。
- 3 期 日 平成27年11月14日(土)～15日(日) 1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 20名
- 6 参加人数 22名
- 7 参加者内訳 小学生5・6年生
(男性10名、女性12名) (県内22名)

8 実施プログラム

1 日 目			9:30	10:00	11:30	12:15	14:00	17:30	20:00	21:00	22:00
		集合	乗船	移動	オープニング	昼食 テント設営	つり活動	野外炊事・夕食	焚き火	シャワー	就寝
2 日 目	7:00	7:30	8:30	10:00	12:00	13:00	14:00	16:50			
	朝の つどい	朝食	テント撤収	カヌー クラフト	昼食	清掃	エンディング	移動	解散		

9 事業の様子

【1日目】



《レクリエーションで仲間づくり》



《協力してテント設営》



《竹竿でつり体験》



《獲れた魚を夕食に》

【2日目】



《↑元気にラジオ体操》
《→カートンドック作り》
《→海でつけた材料でキャンドルシェード作り》



《いよいよ海洋体験》



《カヌーで海中観察》

10 エピソード（参加者の声、アンケートより）

【参加者の声】

- ・1番夜ご飯が大変でしたが、みんなで協力しておいしく作る事ができました。
- ・日常で体験できない事も体験することができてよかった。
- ・テントを立てるのは初めてでしたが、皆で教え合っとてもきれいにできました。
- ・自然の中で暮らせ、ご飯も自分で作れるようになった。
- ・自然のことがよくわかった。

【ボランティアの声】

- ・今までのボランティアだけではわからないことを知ることができ、とてもいい経験になった。準備も企画や広報からするととても大変でスタッフ間の連携が大事だと感じた。
- ・初めて事業の内容を決め、運営を通して子供たちがどういった内容であれば喜んでくれるのか視野を広げ、柔軟に対応する事が必要だと感じた。
- ・改めて子供との関わり方の難しさを感じた。

11 担当者所見

本事業は、小学生対象の自然体験活動の企画・運営をとおして、ボランティアがこれまで学び、経験したことを実践に活かす機会として実施した。

1泊2日の日程で、竹竿でのつり活動、秋の味覚を楽しむ夕食作り、拾った貝殻でキャンドル作りを行うなど工夫を凝らしていた。それぞれのプログラムにゆとりをもたせ丁寧に対応できたことが子供たちの満足感に繋がったと考える。経験豊富なボランティアがより高いレベルを求めていたが、実践したことでの気づきがあったことや、高校生ボランティアがグループリーダーでなく運営を経験したことで視野を広げる機会となった様子である。